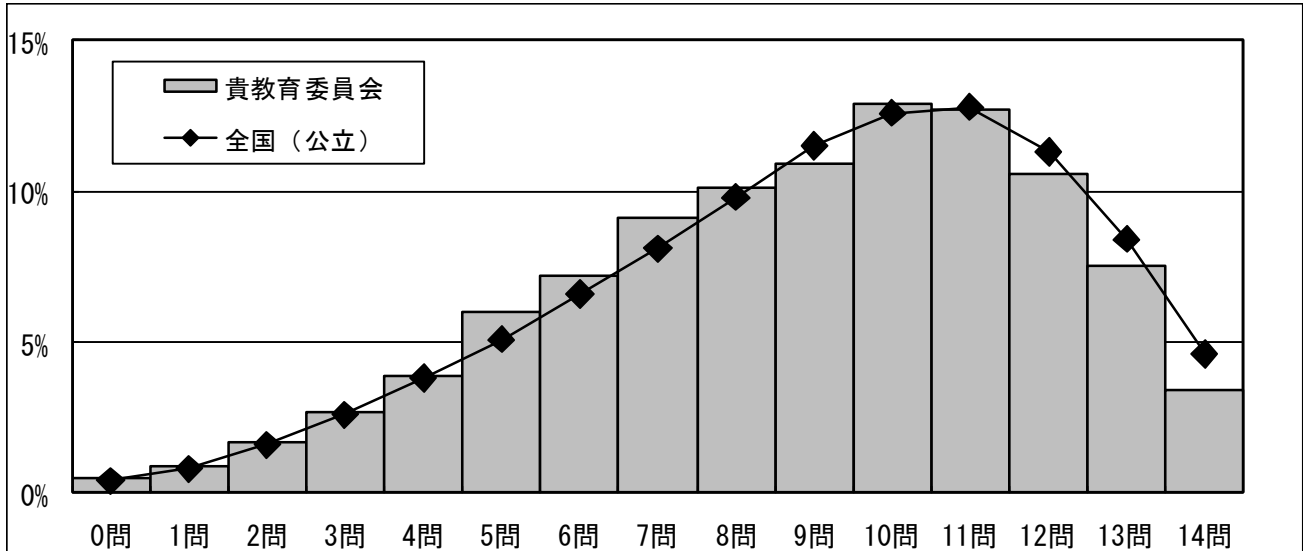


令和3年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（小学校6年）

教科に関する調査 小学校：国語 平均正答率 国語：63%

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合） 正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



2 国語の調査結果の概要及び学習指導のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】

- ◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- ◆自分の主張が明確に伝わるように文章全体の構成や展開を考えること。
- ◆目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- ◆目的に応じ、話の内容が明確になるように、スピーチの構成を考えること。

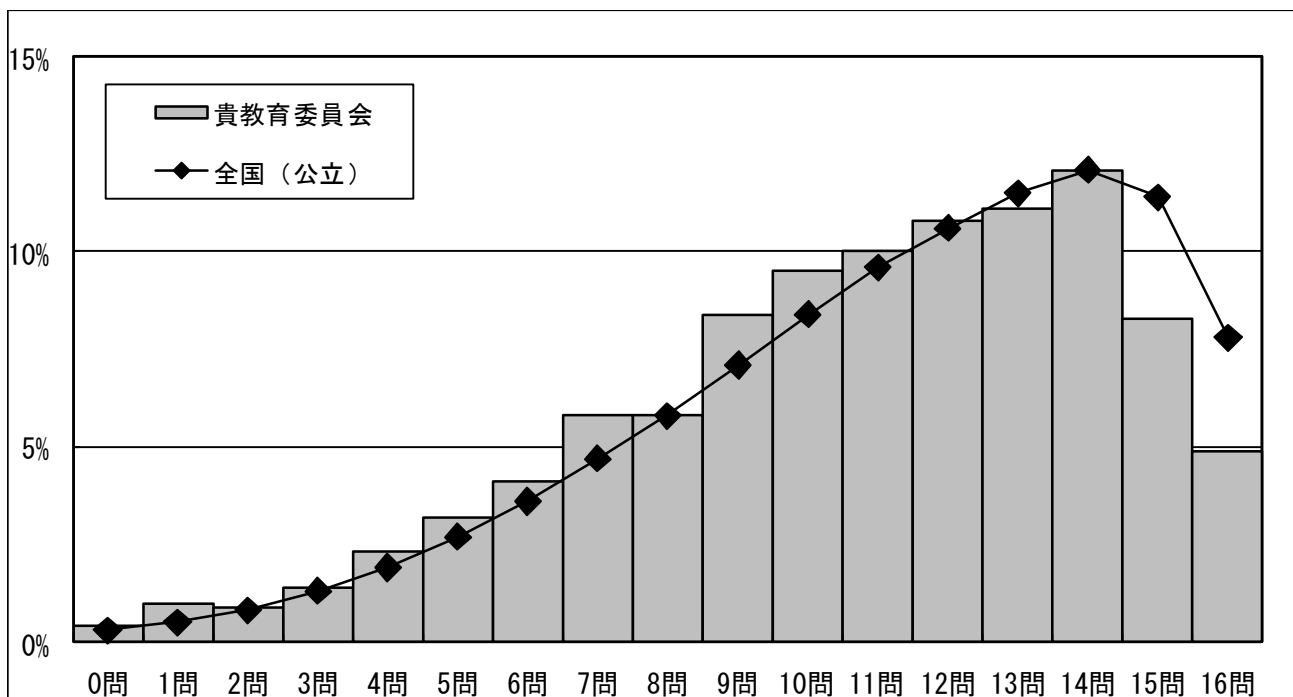
【学習指導のポイント】

- 自分の主張を明確に伝えるためには、筋道の通った文章であることが必要であり、文章全体の構成や展開を考えて書くことが重要である。まず、自分が主張したいことは何か、それを支える理由や事例は何かを明確にする。その上で、理由や事例を、文章全体の中でどのように配置すれば自分の主張が効果的に相手に伝わるかということを考えることが大切である。
- 読み手に考えがよく伝わるようにするために、目的や意図に応じて、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合などを判断しながら書き表し方を工夫することが重要である。また、簡単に書いたり詳しく書いたりする際には、文章の量だけではなく、具体的な事実を挙げて、読み手が納得できるように分かりやすく述べることが重要となる。
- 自分の考えや伝えたい内容を相手に分かりやすく伝えるためには、具体的な相手や目的を意識して、話の中心を明らかにすることが重要である。その上で、意見や提案、報告などの話の種類やその特徴を意識することが必要である。その際、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別したり、詳しい説明を付け加えたりするなどの構成を工夫することが大切である。

令和3年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（小学校6年）

教科に関する調査 小学校：算数 平均正答率 算数：6.7%

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合） 正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



2 算数の調査結果の概要及び学習指導のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】

- ◆二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述すること。
- ◆小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述すること。
- ◆三角形の面積の求め方について理解すること。
- ◆帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述すること。

【学習指導のポイント】

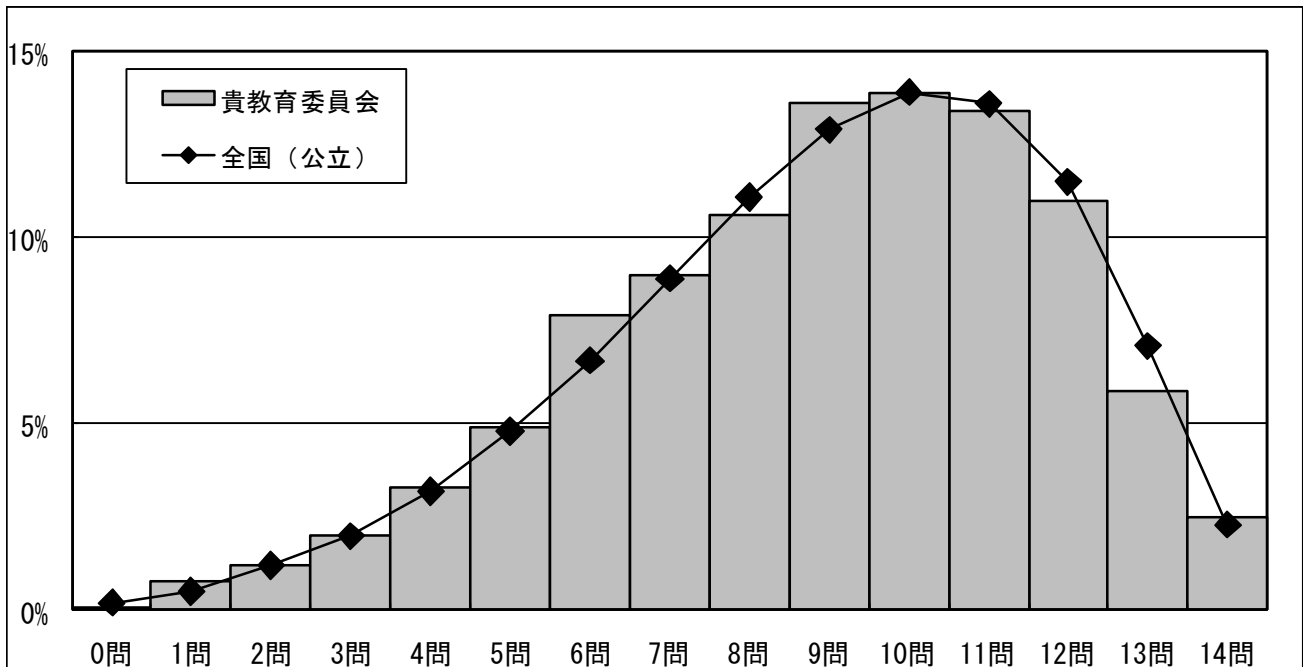
- 日常生活の問題を解決するために、必要な数値を選び、具体的な場面に対応させながら、読み取った数値を適切に用いて式に表すことができるようにすることが重要である。
- 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、整数を用いた倍の意味を捉え直して、小数を用いた倍についても、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味について理解できるようにすることが重要である。
- 図形の面積の学習では、公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると、面積を求めることができるかを理解できるようにすることが重要である。また、公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し、必要な情報を選び出すことができるようにすることも重要である。
- 複数のデータについて、項目の割合を比較するために、帯グラフからそれぞれの割合を読み取ることができるようにすることが重要である。また、各項目の特徴や傾向を読み取ることができるようにすることも重要である。

令和3年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（中学校3年）

教科に関する調査 中学校：国語

平均正答率 国語：64%

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合） 正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



2 国語の調査結果の概要及び学習指導のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】

◇文章に即して漢字を正しく読むこと。

◆文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと。

◆書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考慮すること。

◆事象や行為などを表す多様な語句について理解すること。

【学習指導のポイント】

○文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするように指導する必要がある。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにするように指導することが大切である。

○書いた文章を互いに読み合う際には、「構成の検討」、「考えの形成」、「記述」、「推敲」の各段階を踏まえ、特に、当該学年で重点としている内容に着目するように指導することが大切である。その際、読み手は、書き手の目的と意図を理解した上で、単なる印象ではなく、具体的な部分や事柄を取り上げて助言などをするように指導することが重要である。また、書き手は、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章が他人にどう読まれるかを自覚し、次の自分の書く活動へ生かす具体的な視点を得るように指導することも重要である。

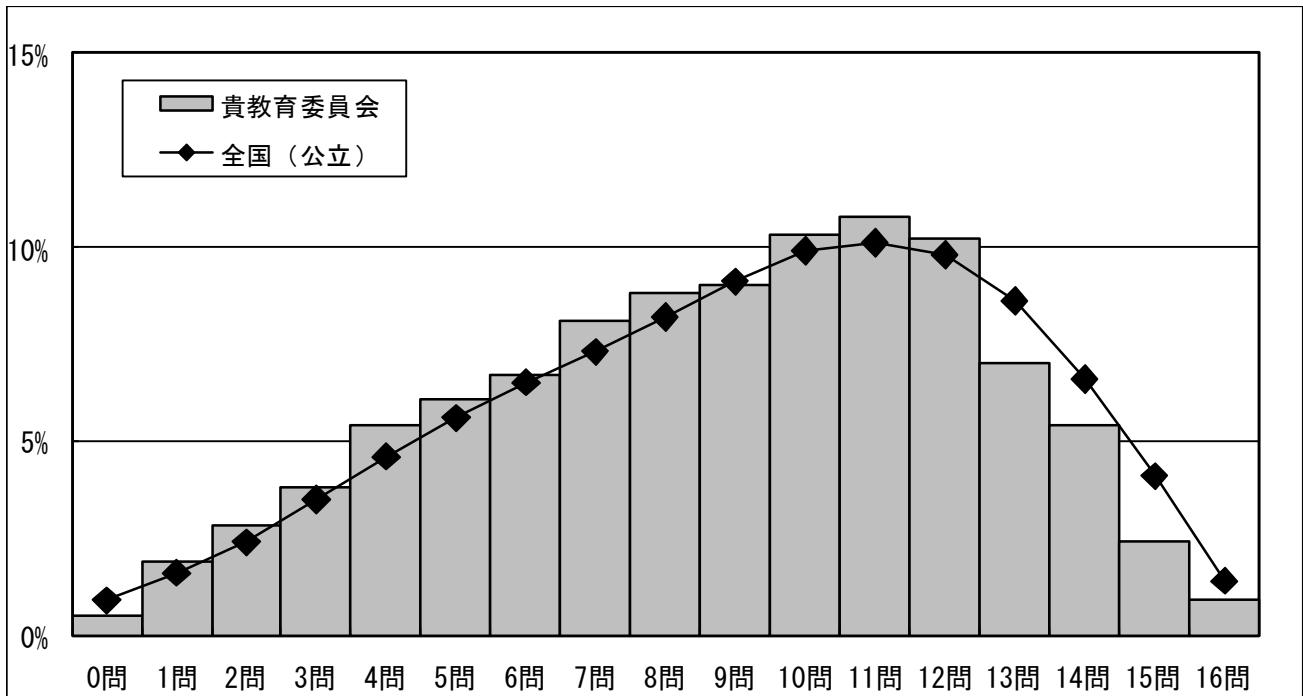
○事象や行為などを表す多様な語句については、生活の中の様々な場面や状況に応じて、適切に使うことができるように指導することが大切である。

令和3年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（中学校3年）

教科に関する調査 中学校：数学

平均正答率 数学：55%

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合） 正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



2 数学の調査結果の概要及び学習指導のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】

- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。
- ◆ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること。
- ◆数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明すること。
- ◆関数の意味を理解すること。

【学習指導のポイント】

- 日常的な事象における伴って変わる二つの数量について、観察や操作、実験などの活動から得られたデータを、表やグラフに表現することを通して、その二つの数量の関係を捉えることができるように指導することが大切である。
- 条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を取り入れ、ある条件の下でいつでも成り立つ性質や関係を捉え、それを数学的に表現することができるように指導することが大切である。
- 数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導することが大切である。
- 日常的な事象の中にある二つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす活動を通して、関数の意味を理解できるように指導することが大切である。その際、独立変数と従属変数との違いを意識して「…は…の関数である」という形で表現できるように指導することが大切である。